

2 法人又は団体による推薦

(秋田市農業委員会の委員候補者の推薦および募集に関する要綱第3条第2項)

番号1

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|------------|--------------------|-----|-----------------|---------------------------|---------|------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 加藤 淳 | 男 | 43 | 農業 | H30.4 R2.7 | 秋田なまはげ農業協同組合総代 秋田市農業委員 | 野菜 | 250a | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 秋田市下新城地区振興会 | 会長 佐藤 清 | 地域の振興のための要望事項とりまとめ | 26人 | 各町内会長 各種団体の長 | 推薦していない | | | |
| <p>(推薦理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回農業委員をつとめ、下新城地区内の農地を見て回る真摯な姿がみられた。若手農業者ではあるが、地域の農業を担う存在で、これから数十年間農業に関わる若手農業者であり、そういった視点で地元の農業活性化や発展のために、頑張ってもらえるように是非とも推薦します。 ・ 稲作栽培に偏る秋田市の農業において、市が推進するエダマメ栽培に下新城地区では一早く取り組み、米脱却を図ろうとする姿は評価に値する。また、学校給食で必要とされるキャベツなどの栽培に意欲的に取り組んでおり、地産地消を目指す学校給食にも貢献している。 ・ 就農して10年になるが、就農当時から県内各地の農家へ足を運び、農業技術を積極的に学ぼうとするなど、その姿は評価に値する。また、秋田市農業大賞では新人賞を受賞している。主要作物のエダマメや業務用キャベツでは、早い段階から安定的な栽培を行っている。 ・ なまはげ農業協同組合の総代を5年努めている。消防団で下新城分団青崎下小友班として10年活動し、秋田市の操法大会にも出場している。 | | | | | | | | |

番号2

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|-------------|-----------------------|-----|--|---|---------|-----------------------------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 鈴木 昇 | 男 | 66 | 農業 | H5.4~H11.3 H8.4~H10.3 H11.4~H18.6 H13.4~H24.3 H24.4~H26.3 H15.6~H17.1 H17.7~現在 | ゆうわ農業協同組合理事 JAゆうわ寺沢支部長 新あきた農業協同組合理事 寺沢自治会役員 寺沢自治会長 旧雄和町農業委員 秋田市農業委員 | 水稻主体 | 水田 3.6ha 畑地 0.59ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 秋田なまはげ農業協同組合寺沢支部 | 支部長 伊藤 進 | 農業施設の維持管理・転作の取り組みや確認等 | 18人 | 集落内農家と近隣農家関係者 | 推薦していない | | | |
| <p>(推薦理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被推薦者は、JAの理事や農業委員を長年務めており、また、土地改良区職員として在職中は、地域の農家と密接な繋がりを持ち事業を推進する等、その功績は大きい。地域農業及び農業事情に精通し、よき相談役として人望も厚く、地域農家からも信頼されており、地域農業の発展に必要な方と思っています。今後さらに農耕地の課題が山積するものと推測されますので、農業委員として活躍されることを切望し農業委員に推薦します。 ・ 過去に農協の理事としての経験もあり、生産販売や農業経営の分野など広範囲に知識を有し、農業情勢にも詳しい。また、地域農家の良き相談役としての役割も担い、地域農業の中心的存在である。 ・ 土地改良区職員としての経歴があり、土地の流動化に伴う諸制度の知識を発揮され、基盤整備事業の完成に尽力された。今は要職を離れているが、担い手農家や地域農家の相談役として、知識と経験を十分発揮している。 ・ JA支部長や自治会長など長年務めるなど地域の信頼も厚い。現在は、農業の多面的機能支払事業の事務局を担い、また、新たに立ち上げた集落営農組織の管理、運営も担うなど、地域への貢献度は非常に高い。 | | | | | | | | |

番号 3

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|---------|---|-------|---|--|---------|------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 佐藤 きよ子 | 女 | 65 | 地方公務員 | S54.4 H26.4 H29.4 H31.3 H31.4 R5.3 | 秋田市役所入所（市民課配属） 秋田市農業委員会事務局配属 秋田市農業委員会事務局 参事 退職 秋田市北部市民サービスセンター配属（再任用） 同センター退職（予定） | 経営していない | | 認定を受けていない |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 秋田県農業委員会 女性協議会 | 加藤 エリ子 | 女性農業委員・農地利用最適化推進委員の連携により農業委員会活動を強化し、活力ある農業・農村の振興に寄与すること | 66人 | 秋田県内の女性農業委員・農地利用最適化推進委員、一般社団法人秋田県農業会議の女性常設審議委員で会の目的に賛同する者 | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被推薦者は、農地の集積、遊休農地の解消をはじめとした農業委員会の活動に意欲を持つほか、農業・農村で女性がより働きやすく暮らしやすいよう、女性参画の促進や女性リーダーの育成に向け、中立の立場として意見を述べ、次世代に繋げていきたいと考えている。貴市の農業委員候補者の要件を満たし、農業委員の職務を適切に行うことが出来る者と判断し、当協議会より推薦する。 ・被推薦者は、秋田市農業委員会事務局の管理職として改正農業委員会法成立に伴う制度改正への対応や遊休農地の状況集約のため奔走した経験があり、現在も農業者と関わり声を聞き、農業施策の動向に注視しており、地域農業に対する認識や理解は十分である。 ・被推薦者は農業委員会事務局での職務経験や日頃の農業者への対応を通じて農業に関する知識を蓄えていることや、兼業農家出身で農作業の経験があることから、これらの経験を農業委員会活動に活かすことが期待出来る。 ・被推薦者は、農業委員会事務局や北部市民サービスセンターでの職務を通じ多くの農業者や市民の活動を支援しており、今後の地域活動における活躍が十分に期待出来る。 | | | | | | | | |

番号 4

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|--|---------|-------------------------------|---------|---|--|---------|-------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 佐々木 和昭 | 男 | 72 | 農業 | H19.4～H31.3 H26.7～現在 H28.1～R4.1 H29.7～R2.7 H31.4～現在 R2.7.20～現在 | 河辺土地改良区監事、理事 多面的機能支払交付金 高岡農地保全会事務局 高岡町内会会長 秋田市農地利用最適化推進委員会副委員長 河辺土地改良区理事長 秋田市農業委員 | 水稻 | 5.4ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 高岡農地保全会 | 佐々木 達吉 | 農用地、水路、農道等の地域資源及び農村環境の保全を図ること | 20名+1団体 | 会の活動目的に賛同する耕作農家及び高岡町内会 | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から秋田市農業委員として、あるいは河辺地区土地改良区理事長として地元の農業生産活動に広く関与し、人物、経験共に申し分なく、地域関係団体からの信任も厚く、地域農業の実情にも最も精通していることから推薦する。 ・本県農業情勢を十分に把握し、秋田市農業再生会議のメンバーとして本市の農業情勢は理解している。地域の非農地化した農地も掌握している。多面的機能支払交付金活動にも事務局として重要な職務をこなしている。 ・長年にわたり農業共済組合評価員として地域農業を見つめ、また認定農業者として農業生産の向上に努め、十分な知識、経験を有している。 ・高岡農地保全会の中心的立場で行事を実施し、昨年までは高岡町内会長として会員相互の親睦を図る事業を行うなど、地域社会づくりにも貢献している。 | | | | | | | | |

番号5

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|--|---------|-------------------------------|-----|---|--|---------|------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 加賀屋 慎一 | 男 | 62 | 農業 | S54.3 S55.3 S55.7 H26.2 H29.7 R2.7 | 秋田県立金足農業高等学校農業科卒業 秋田県立金足農業高等学校専攻科卒業 秋田市農業協同組合 入組 新あきた農業協同組合 一身上の都合により退職 秋田市農地利用最適化推進委員 秋田市農業委員会委員 | 水稻 | 524a | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| J A秋田なまはげ飯島支店外旭川支部長会 | 佐藤 祐治 | J A秋田なまはげ事業の組合員への連絡及び事業内容の手伝い | 9名 | 外旭川地区支部長 | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者や集落の声を行政や関係団体へ届け、魅力ある農業振興に相応しい人材である。また、農業委員として3年間務めた実績を踏まえ、地区のリーダーとして期待している。 ・ 生き生き農業専科及び農業委員として必要な制度を勉強している。 ・ 農地法に基づく許可など地域振興にむけ積極的に行動している。 ・ 地域の若手農業者として積極的に担い手対策等へ貢献している。更に農業委員としての活動も評価している。 | | | | | | | | |

番号6

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|------------|--|------------------|--|--|---------|--------------------------------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 相場 堅一 | 男 | 73 | 農業 | H15.3～ H16.9～ H17.4～ H26.7～ H27.2～ H27.6～ R1.11～ | 父親から農業を引き継ぐ 仁井田堰土地改良区総代 J A秋田なまはげ大野支部役員 秋田市農業委員（現職） 大野地区「人・農地プラン」代表者 農業経営改善計画認定者（認定農業者） 秋田市南カントリーエレベーター利用組合副代表理事 | 水稻 | 自己耕作 2.5ha 作業受託 3.0ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 仁井田地区振興会 | 会長 相場 隆 | 仁井田地区5 2町内会で組織して、地域住民の相互理解と共に地区振興発展を目標に結成されています。 | 仁井田 52町内 会 | 仁井田地区約 5,000世帯（振 興会調べ） | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仁井田は以前から純農村地域でありました。相場さんは農家に生まれ高校を卒業し市内の企業に就職して家業の農業も手伝っていました。退職後就農し専業農家になり経営規模拡大を進めるために、集落の農家から耕作依頼を引き受けるなど認定農業者として頑張っている姿は農業委員候補者として適任と思ひ推薦します。 ・ 農業委員として、地域の課題や農業情勢をよく理解し、仁井田地域農家の厳しい農業問題（担い手問題・農地の集積）に対する相談員として活動している姿は当地域の適任者であり評価します。 ・ 大野地区の「人・農地プラン」代表者として近隣農業者に情報提供等を周知している姿は、地域のリーダーとして評価します。また、昨年オープンしたカントリーエレベーターの役員としても頑張っています。 ・ 農業委員になって、直ぐに地域の野菜栽培農家から販売先が欲しいとの要望を聞いて、相場さんの呼びかけで近隣のコンビニの駐車場の一部を借りて、新鮮な「朝どり野菜」の直販を進めた事で周辺団体の方々と繋がりができて喜ばれています。 | | | | | | | | |

番号7

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|--|---------|-------------------------|-----|-------------------------------------|---|---------|------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 藤田 修 | 男 | 55 | 農業 | H22.4 H25.4～ H29.7～ H30.4～ | 就農 飯島南体協普及委員 秋田市農業委員 飯島みどり会副会長 | 水稻 | 16ha | 認定を受けていない |
| 推 薦 者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 飯島地区農業団体連絡協議会 | 佐々木 博 | 飯島地区の農業に係る役職の選定、親睦、情報交換 | 18名 | 飯島地区農業団体役員 | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の許認可業務、耕作放棄地のパトロールにも取り組み、又、圃場整備事業を円滑に進めるよう活動しており、今後も活躍が期待できる。 ・農業情勢や本市農業への認識・理解度を評価できる。 ・農業に関する知識・経験を評価できる。 ・地域における活動など、これまでの活動を評価できる。 | | | | | | | | |

番号8

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|---------|-----------------------------|-----|--|---|---------|--------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 佐々木 英久 | 男 | 76 | 農業 | H17.4～H24.3 H26.7～現在 H24.6～H30.6 H元.3～現在 H15.12～H27.12 | 秋田市消防団太平分団長 秋田市農業委員会農地利用最適化委員会委員長 新あきた農業協同組合理事 孫左エ門堰土地改良区総括監事 古町神田町内会会長 | 水稻 | 11.5ha | 認定を受けている |
| 推 薦 者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 太平地域振興協議会 | 利部 周市 | 太平地域住民の親睦と地域の発展、安全、安心に寄与する。 | 58名 | 地区内各町内会長・副会長・及び各種団体・協議会会長・学識経験者 | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐々木英久氏は、50年以上に渡り農業に従事し、その間就任した多くの役職で得た知見を活かし、厳しさを増す農業情勢の中、秋田市農業委員会委員の役割を果たす適任者と考え、推薦いたします。 ・孫左エ門堰土地改良区総代を務め、現在は総括監事の任にあります。新あきた農業協同組合理事任在任中、秋田市農業委員に就任し、現在に至っております。農業への認識、理解度は非常に高いと思料いたします。 ・昭和40年農業高等学校卒業と同時に家業の農業に従事し、学んだ知識を活かし、地域農業関係者のリーダーとして、環境の整備・改善に尽力して参りました。又、地域有数の篤農家として高い評価を得ております。 ・太平・古町神田町内会会長を12年間務め、秋田市功労賞を受賞。秋田市消防団太平分団員40年、同分団長7年間務め、消防庁長官賞受賞。太平地域振興協議会副会長。太平地区社会福祉協議会理事。 | | | | | | | | |

番号 9

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|--|-------------|------------------------|----|-------------------------------------|----------------------------------|---------|------------|-----------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 佐々木 吉秋 | 男 | 76 | 農業 | H4.7～H5.6 H5.7～H20.7 H20.7～現在 | 秋田市農業委員 秋田市農業委員 秋田市農業委員会会長 | 稲作 | 9.6ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | | | | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 |
| | | | | | | 人数 | 資格、要件等 | |
| 金足地区振興会 | 会長 水沢 慶一 | 金足地区住民の親睦融和と地区発展を図ること。 | | | | 18名 | 金足地区内の町内会長 | 推薦していない |
| <p>（推薦理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成4年より今日まで農業委員、特に平成20年より現在まで農業委員会会長として、金足地区はもとより秋田市農業の振興発展に大いに寄与しているものと考えます。今後も当地区を始め市内農地の基盤整備を推進し稲作プラス他作物、法人化による集落営農を目指す上でも彼のリーダーシップに期待するところが大きく、推薦したい。 ・米の需要の減少等々先の見通しの難しい中、秋田市農業の課題である稲単作からの脱却、担い手対策、耕作放棄地の解消、6次産業化への取り組み問題等々の課題解決へ向けての姿勢は大いに評価できます。 ・昭和40年高校卒業と同時に就農し、現在まで50数年一貫して稲作経営を続けており、特にコスト低減に向けて様々な努力を重ねていることは大いに評価できます。 ・これまで金足西小、秋田北中、金足農高のPTA会長、又、金足西学区体育協会会長、秋田市消防団金足分団長を歴任、現在も秋田市農業委員会会長、金足地区基盤整備推進協議会長、金足の自然と農業を守る会副会長、北部地区カントリーエレベーター利用組合理事として奮闘しており、地域活動に対する熱意は素晴らしいものがあります。 | | | | | | | | |

番号 10

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|--|---------------|--|----|---|--|-----------------|---|-----------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 伊藤 洋文 | 男 | 69 | 農業 | S54.4～S56.3 S57.4～S59.3 H6.4～H17.1 H17.1～H26.3 現在 現在 現在 現在 | 雄和町連合青年会会長 秋田県連合青年会事務局長 雄和町公民館館長 秋田市立雄和図書館長 雄和中央土地改良区理事長1期 雄和芸術文化協会会長現在4期 秋田市農業委員3期 農業法人「アグリあいかわ」代表理事 | 水稲、大豆、 枝豆、ネギ | 水稲41ha 大豆41ha 枝豆8ha ネギ2ha (アグリあいかわ) | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | | | | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 |
| | | | | | | 人数 | 資格、要件等 | |
| 雄和中央土地改良区 | 副理事長 山内 善美 | この土地改良区は、農業生産の基盤の整備及び開発を図り、もって農業の生産性の向上、農業生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に資することを目的とする。 | | | | 526人 | 改良区の組合員（農地の所有者又は三条資格者） | 推薦していない |
| <p>（推薦理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊藤さんは長年の農業実践と地方公務員の経験を生かし、現在地域の土地改良区、地区保全会等の役員として活躍しており、又雄和地域の芸術文化団体の代表を務める等地域のまとめ役として力を発揮している。これからも農業、農村再生のために引き続き秋田市農業委員として活躍して頂きたい。よって当土地改良区は伊藤さんを推薦するものとする。 ・伊藤さんは若者の農業離れの心配から、生まれ育った地域で生活できる体制を築くために、地元で農業法人を設立して農の雇用の創出、農業への楽しみを見出す環境づくりをはかっている。 ・伊藤さんは秋田市役所を退職後、自ら認定農業者を取得後地元で農業法人を設立すると共に、コスト削減と労力の軽減化を図るために水稲の直播栽培や転作物として、大豆、枝豆、ねぎ等に取り組んでいる。また、発足当時から代表を務めている（農）アグリあいかわは令和2年度に旧小学校体育館を活用した出荷施設の整備等の取り組みが評価され秋田市農業大賞を受賞している。 ・伊藤さんはこれまで地域における青年会活動を始め、各種社会教育活動を経験しており、地元の自治会長を歴任し現在は、雄和芸術文化団体等の代表として積極的に取り組まれており、地域のコミュニティづくりや文化の醸成に貢献している中心的人物である。 | | | | | | | | |

番号 1 1

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|--|---------|---------------------|------|-------------------|---------------------|---------|------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 白岩 勝 | 男 | 61 | 農業 | H23.7～現在 | 秋田市農業委員（四期目、第一区域部長） | 水稻 | 850a | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 上新城地区振興会 | 渡辺 良雄 | 上新城地域の自治及び地域振興に係る活動 | 470名 | 地域居住者で町内会々員をもって構成 | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> 被推薦者はこれまで4期12年秋田市農業委員として地域を含め、本市農業の持続的な発展に向けて献身的に取り組まれてきたことを評価しつつもさらに健全な農業と農村づくりに向けた活動が期待出来る。 自ら認定農家であることも含め、考え方に信頼度も高く行動力もあることから地域農業のリーダーとして地域の将来を託せる人材と考えている。 稲作の機械化一貫体系を確立している傍らプール育苗等の新技術の導入やドローンによるスマート農業の実践等農業知識や技術は地域の模範である。 農業集団の副代表の他、土地改良区、森林組合等の農業団体の役員の他、町内等での主要な役職を務められており、その手腕は高く評価されている。 | | | | | | | | |

番号 1 2

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|--|--------------|--|------|---------------------|-----------------|---------|-------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 齊藤 善彦 | 男 | 71 | 農業 | H14～現在 | 農業委員 | 米、野菜 | 4.2ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 雄和土地改良区 | 理事長 珍田 計雄 | 農業用施設等の整備、農地の区画整理事業の実施、造成した土地改良施設の維持管理等を目的とする。 | 307名 | 土地改良区域内の農地の所有者又は耕作者 | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業の低迷、農家の高齢、人口減少、耕作放棄地の増加等に積極的に取り組み、農業生産の維持向上、農家経営の安定と地域住民の安心安全のため貢献されておりその姿勢は他の模範とする所であります。 農業を取り巻く厳しい条件下、長きにわたり農業委員として活動され、その豊富な知見と経験を基に地域農業の再生と発展に寄与されております。 農地の有効活用の必要性を認識され積極的に取り組み、水稻、畑作の複合経営の確立のため実践し、又、地域の雇用にも貢献されています。 地域の農地及び農業用施設の維持管理に関する活動や土地改良事業の重要性を認識されると共に、農業・農村の振興にも取り組まれている事は高く評価されております。 | | | | | | | | |

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|--|---------|--------------------------------------|-----|---|---|---------|------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 佐々木 繁明 | 男 | 69 | 農業 | H18.5 H22.1 H26.4 H29.6 H29.7 | 杉沢堰水利組合 庶務 台町内会 役員及び会計 大倉堰水利組合 組合長 秋田県農業共済組合 理事 秋田市農業委員会 委員 | 水稻 | 22ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 岩見三内地区会長会 | 備後 正義 | 会員相互の親睦を図り相互協力により地域発展と町内会運営の向上に寄与する。 | 22人 | 町内会長 | 推薦していない | | | |
| <p>(推薦理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田市農業委員や秋田県農業共済の理事として地域の農業生産活動に寄与しており周りの農家の信頼が厚い人物である。 ・認定農業者として各種の研修会等に積極的に参加し豊富な知識・技術を習得して行く行動力は模範となり他の農業者に活力を与えている。 ・18年前に父親を亡くしてから兼業農家で頑張り周りの人が離農して行く中で耕作を引き受けて面積を拡大している、またスマート農業を実践しいち早くドローンを取り入れている。 ・水利組合長を努めて水路の保守点検や、農道整備等を率先して行い関わる人達を取りまとめて農業生産活動に支障が無い様頑張っている。 | | | | | | | | |

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|---------|--|-----|---------------------------------|--|---------|-------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 長坂 一二 | 男 | 74 | 農業 | H12～H16 H16～ H26～ H26～ | 上新城土地改良区理事 上新城土地改良区理事長 上新城六地区保全会代表 秋田県農地集団化推進協議会副会長 | 稲作 | 5.6ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 秋田市上新城土地改良区 | 長坂 一二 | 農業生産基盤の整備及び開発を図り、もって農業生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に資することを目的とする。 | 141 | 地区内に農用地があって、所有権に基づき耕作しているもの | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前頁に記した農業関係の役職を歴任し、下記項目に加え、洞察力・先見力・説得力・積極性・人間性及びリーダーとしての素養を持ち、農業に関する見識、農地等の利用の最適化の推進に関する事項の対象資質のほぼ全てを満足し、高く評価出来るので推薦する。 また、改正された必須業務を遂行するためには、強力なリーダーシップが求められる。その観点からも適任である。 尚、遊休農地の発生防止等は、土地改良区及び多面的機能維持活動組織本来業務でもある。 このことから十分評価できる。 ・農業農村関係の知識は、秋田県土地改良事業団体連合会（以下「土地連」と称す）関係の研修会及び農業新聞等から得、そして諸外国等への旅行の際も現地に出向き情報を収集している。 その中で、産業政策（豊で競争力ある農業）と地域政策（美しく活力ある農村）並びにその土台となる政策（強くてしなやかな農業・農村）、そして食糧自給率の低下・少子高齢化問題・戸別所得補償制度の見直し等に注視し、地域農業の行く末を案じている。 秋田市は、雄和町・河辺町と合併した地域性豊かな混在都市であり、画一的でない対応が求められている。又、全県JAの組織化が計画されているが、土地連秋田支部（秋田・男鹿・南秋）の副支部長を務めその地域の特性を十分に理解しており、公域的で柔軟な対応が出来る資質がある。 このことから十分評価できる。 ・専業的農家として、稲作の営農指導等地域で中心的な役割を果たしている。 又、農地中間管理機構事業を積極的に活用し、遊休農地をも借入れ、重機を駆使して遊休農地を復田しつつ、農地集積・規模拡大を図っている。 農業の自然な営みと、遊休農地を解消しながら、守りたい上新城の豊かな自然・歴史を次世代に引き継ぎ、地域の多面的昨日の維持・発揮を図るため「上新城六地区保全会」を設立し、代表として活躍している。 基本的な活動を実施しながら、令和3年度を以て閉校してしまいましたが、小学校との連携も重点に据え、農業農村の理解を深めつつ、将来の農業後継者候補として期待も寄せていた。 農村景観を見渡す高台の整備として、「安藤一族の館」跡地を整備する「里山の復元」も構想として持っている。 このことから十分評価できる。 ・平成元年に農業に従事以来34年、現在4.2ha増反し認定農業者として、食用米・加工用米及び上新城種子組合の一員として種子米も栽培し、併せて5.7haを耕作しており、後継者の目処も立ち地域の模範農業者として稲作農業に取り組み、経営的にも安定している。 過去には花きにも取り組んでおり農業経験は豊富である。 妻も農業関係団体の要職を歴任し、多方面で活躍しており、物心両面でサポートしている。 土地改良区の理事長としては、率先して区域内の農地・土地改良施設の現状把握に努め、速やかな維持修繕管理に積極的に取り組んでいる。又、長年の懸案事項であった送水管理設工事等を積極的に進めた功績は多大であり、組合員の維持管理費節減に寄与し機動力のある理事長として感謝されている。 このことから十分評価できる。 | | | | | | | | |

番号 15

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|---------|------------|------|--|--|-----------------|-------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 武藤 真作 | 男 | 70 | 農業 | S51.6~8 H11.4~H15.3 H19.4~H25.11 H25.12~現在 H26.7~現在 H28.8~H29.4 R3.2~R3.8 R3.10~R4.3 R1.6~現在 | 第10回総理府青年の船参加 秋田市議会議員 集落営農組織 白華の里生産組合代表 農事組合法人 白華の郷代表理事 秋田市農業委員 秋田市都市農村交流マスタープラン策定検討委員会委員 秋田市農山村資源活用基本構想検討委員会 第2次秋田市都市農村交流マスタープラン策定検討委員会委員 秋田市さとびあ活性化協議会委員 | 水稲、大豆、野菜、そば、いちご | 約70ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 豊岩地区振興会 | 佐賀 定 | 豊岩地区の振興と発展 | 423名 | 豊岩地区に在住するもの又は世帯主を代表するもの | 推薦していない | | | |
| <p>(推薦理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊岩地区の振興発展には深く関わっており、特に農業振興においては地区のみならず、秋田市の近代的な農業先駆者の一人として活躍しており、いち早く産業用無人ヘリやドローンの導入と、農業法人などの立ち上げに取り組み、秋田市農業の持続的な発展に挑戦を続けている。またJA秋田なまはげの枝豆生産振興のリーダーとして活躍している。令和2年からは秋田市で初めてのいちごの高設養液栽培に取り組み、注目されている。さらには「とよいわライスセンター」利用組合の代表理事として、ライスセンターの建設から運営まで携わっている。 ・農業者の高齢化や後継者不足など、喫緊の課題に積極的に自らの意見や考えを述べるとともに、農業関連団体や組織との連携を図りながら、第6次秋田市農林水産業農村振興基本計画に鑑み、農業従事者同士の認識・理解を深める活動をしている。 ・豊岩中央土地改良区の担い手育成基盤整備事業での換地・評価委員の経験や、農業法人化を進めた経緯から、知識や経験だけでは判断できない農家個々の農業に対する純粋な思いを知り尽くしている。 ・農業のみならず、町内会長や小中学校教育後援会会長・スポ少育成会会長などの活動を通じて、地域の教育や文化の伝承等に、積極的に取り組んでいる。コロナの影響で開催できないが、豊岩産のそば粉を使った「手打ちそばを手繰る会」を主催し、年末の恒例行事として定着している。 | | | | | | | | |

番号 16

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|--------------|--------------------------------------|-----|------------------------|--|---------|------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 柴田 ますみ | 女 | 49 | 農業 | H28.4 H31.3 R2.7 | JA秋田なまはげ 松崎支部 副支部長 松崎水利組合 会計 秋田県農業委員会女性協議会 副会長 | 水稲 | 16ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 松崎水利組合 | 組合長 進藤 久信 | 池沼の营造修築、揚水機の運転、施設管理・用水路改修修繕とその他必要な事業 | 67名 | 農地所有者・耕作権取得者 | 推薦していない | | | |
| <p>(推薦理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の構造改善から60年以上たった下北手地区の農地において、圃場整備の必要性を積極的に提案し、整備に向け活動を行っている。コロナ禍のため協議が進まなかったが、今後本格的に話し合いを行っていく予定としており、協議を中心的にまとめ活動して行くよう期待する。 ・農業委員として二期を務め、地域内外の状況を把握し、耕作放棄地や担い手不足を大きな問題ととらえている。新規就農者へのアプローチを行いながら、遊休農地の活用方法を検討するなどしている。 ・就農から10年以上経過し、現在は事業主として農業経営に励んでいる。経営に役立てるべく研修会などに参加し、情報収集や、農業法人などとの交流を積極的に行っている。 ・圃場整備説明会の開催、整備に向けた意識調査、被農家からの耕作要求の対応、耕作者との顔つなぎ等農地の保全に努めている。 | | | | | | | | |

番号 17

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|---------|---------------------|------|--|---|---------|-----------------------------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 関 正美 | 男 | 62 | 農業 | H7.4～現在 H9.11～H29.4 H29.4～現在 H29.10～現在 R2.7～現在 | 農業 芝野堰土地改良区総代 芝野堰土地改良区理事 戸島地区基盤整備組合副組合長 秋田市農業委員 | 水稻主体 | 水田 11.2ha 畑地 0.9ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 戸島地区基盤整備組合 | 酒田 健一 | 担い手農地集積加速化基盤整備事業の推進 | 129戸 | 戸島町内の農家 | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> 被推薦者は、農家の高齢化や担い手不足等により、農地の荒廃（遊休農地）が進む状況下において、平成19年11月より芝野堰土地改良区役員として、関係農家に対し、基盤整備事業の必要性を訴えるなど、地域農業の展望に尽力しているものである。 被推薦者は、各種研修会への参加のほか、様々な分野の農家と積極的に情報交換等により、現状の課題を把握しており農業情勢に明るい。 被推薦者は、密苗農法やドローン等の最新技術など、発展的な農業に関する知識が豊富である。また、各種会合等において、同技術の必要性・有用性等について積極的に情報発信している。 被推薦者は、農地所有のほか、貸借や作業受託等により経営規模の拡大を図っている。また、昭和62年から酒造好適米の栽培にいち早く取り組むなど、地域からの信望も厚く、担い手としても評価が高い。 | | | | | | | | |

番号 18

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|-------------|----------|-----|--|--|---------|------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 鎌田 悦雄 | 男 | 73 | 農業 | H14.3～H24.1 H24.1～現在 H26.12～H27.7 H26.4～現在 H17～現在 H29.7～R2.7 R2.7～現在 | 秋田市猿田土地改良区理事 秋田市猿田土地改良区理事長 秋田市農業委員（改良区推薦1年） 大山田ゆいの会代表（多面的機能事業） 秋田市認定農家業者 秋田市農地利用最適化推進委員 秋田市農業委員会委員 | 水稻 | 6ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 上北手地区振興会 | 会長 佐藤 宏悦 | 地域の振興 | | 地域の住民 | 推薦していない | | | |
| <p>（推薦理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌田氏は、認定農業者として主に稲作を耕作すると共に、土地改良区理事長職や農業委員、農地利用最適化推進委員の経験と、地域事情に詳しく地元農業者との信頼も厚い。また多面的交付金事業に取り組み、地域のリーダーとして今後も活躍が期待される。 農業団体の役職や立場から見ると、変化に対応する農業への取り組みや、将来秋田市と共に、目指す農業への認識は人一倍高く理解度も十分と評価する。 認定農家歴も長く、経験知識は豊富。農業に対しての意欲や行動は、地域からの信頼も厚く評価できる。 鎌田氏は上北手市民憲章推進協議会会長、猿田土地改良区理事及び理事長などを現職として活躍しており、これからもますます期待される人材である。 | | | | | | | | |

| 被推薦者（推薦を受ける者） | | | | | | | | |
|---|---------|----------|------|--------------------------------|---|------------------|--------------------------|---------------|
| 氏名 | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | | 認定農業者であるか否かの別 |
| | | | | 年月 | 職名・役職・委員名等 | 営農類型 | 経営規模 | |
| 武藤 達未 | 男 | 26 | 農業畜産 | H31.3 H31.4 R3.5 R3.6 | 秋田県立大学生物資源科学部 卒業 (有)ハッピー農場 入社 (有)ハッピー農場 退職 あきた牧場 就農 (代表) | 羊肉 ウサギ肉 羊毛 | ウサギ100羽 めん羊40頭 2ha | 認定を受けている |
| 推薦者 | | | | | | | | |
| 組織の名称 | 代表者等の氏名 | 活動の主たる目的 | 構成員 | | 農地利用最適化推進委員への推薦 | | | |
| | | | 人数 | 資格、要件等 | | | | |
| 小平岱活動組織 | 伊藤 薫 | 共同作業 | 19 | | 推薦していない | | | |
| <p>・秋田県立大学卒業後、ヒツジ飼養経営に従事し探究心と責任が強く地域においても、中心的な存在としてご活躍されています。地域の農業発展に向けての高い意欲を持っている事から農業委員として強く推薦します。</p> <p>・何事にも研究熱心で現在の農業経営に対する考えがしっかりしている。</p> <p>・稲作経営は勉強中心ですが、勤勉で知識も豊富です。</p> <p>・若者の中心的存在でリーダー的役割をしています。</p> | | | | | | | | |